

# 第5回碩田中学校区適正配置地域協議会 会議要旨

日時：平成25年2月5日（火）18：30～20：30

場所：大分文化会館 第2小ホール

○出席者33名、欠席者5名

## 1. 開会のことば

- ・江藤副会長より、開会のことば。

## 2. 会長あいさつ

- ・吉田会長より、開催に当たってのあいさつ。

## 3. 議事

- ・議事に入る前に、本日の議事内容について質問がある。

<主な意見>

【委員】今後の協議の日程をどうするかが、本日の協議の中心だと思っている。しかし、議題の2番目に実施時期についてとあり、このようなスケジュールはあくまでも協議会として、委員の協議で決めるべきではない。また、議題の3番目には小中一貫教育についてとあるが、これは協議事項でなく報告事項で良いのではないか。

【委員】協議事項を何にするかをまず協議をして、その中で優先順位をどうするのか、そして協議資料は、いつどのような資料を事務局から提示するのかというようなことを議論しながら、統合問題を考えていくとの方向が良いのではないか。議題として実施時期についてとあるのが不自然である。

【事務局】大分市立小中学校適正配置基本計画で、碩田中学校区における適正配置の実施時期については「平成28年度頃までに適正配置の完了を目指します」としていることから、今後の協議スケジュールと関連してくるので2番目の議題として取り上げている。また、小中一貫教育については、碩田中学校区と賀来小中学校の視察を実施したが、都合がつかなかった委員もいたことから、すべての委員が理解を深め共有することが必要と考え、協議事項としている。

### (1) 今後の協議日程等について

- ・協議スケジュール（案）について提案する。

<主な意見>

【委員】協議事項の地震・津波対策等の防災について、学校は地域の避難場所にもなるのでこの協議会だけで検討されるだけで良いのか、色んな知恵があっても良いのではないかと考える。せっかく新校舎を建設するのであれば、防災を考えた建築にしてもらいたいと思うので、専門家や詳しい人が協議に参加することも考えているのか。

【事務局】市長部局では、3月末にハザードマップを作成して、全戸に冊子で配布する予定だと聞いている。そのハザードマップに基づいた説明については、すでに担当課の防

災危機管理課に依頼している。そのような取組は他の協議事項でも必要と考える。

- 【委員】 7つの協議事項のうち、1番に協議すべき事項は新校舎の位置ではないか。新校舎の候補地を最初に提示して、それぞれについて色々な項目のメリット・デメリットを考えていく方が合理的で議論も後戻りしないと思うので、そのような方向で提案したい。
- 【委員】 どういう形で協議を進めていくかは、協議会で色々な意見が出され合意を求めらる中で進めていけば良いと思うが、本日の提案では、新校舎の位置以外の他の6項目をしっかりと論議をした上で、その結果として総合的な観点から新校舎の位置について協議を進めていくべきではないかとしている。
- 【委員】 各校区がどのような考え方でどこの場所に新校舎を建設したいとしているのか、まず考え方を各校区で出し合うべきではないか。今回はあくまでも小規模校の解消に対する統合であって、新校舎の位置と中学との立地条件の中でどういう教育形態が取れるのかということを確認すべきだと考えるので、まず新校舎の位置について協議すべきではないか。
- 【委員】 委員の方々の意見を聞くと、スケジュールの順番として、まず新校舎の位置について協議したいという意見がかなり出ている。当初の案では一番最後に協議している新校舎の位置をまず一番に協議して、そして各校区のメリット・デメリットを出し合い、共有すれば良いのではとの意見があったので確認してはどうか。

○協議スケジュールについて、7つの協議事項のうち、まず新設校の位置について協議を始め、それぞれの校区に新設した場合を比較検討することを確認する。

- 【委員】 各校区のメリット・デメリットを整理するのは事務局がするのか。事務局でなければ、各校区でそれぞれどう考えるのかということを確認する必要があると思うのだが、そうすると各校区でまた集まってどういう議論をするか、次回に向けて色々スケジュール等の調整もしていかなければならない。
- 【委員】 メリット・デメリットを教育委員会として示すのは大変難しい。教育委員会としては、児童数や校地面積、校舎の耐用年数等のデータ的な資料については示すことはできるので、そのデータを基に各校区で検討していただきたい。
- 【委員】 あくまでも新校舎の位置について検討を始めるということであって、新校舎の位置を決定するというのであれば、協議項目は何かというのは委員で最終的に優先順位を決めていくべきである。事務局から示してほしいことは、3校区それぞれに立地した場合の予算面、運動施設、校舎用地等として十分なのかどうかという資料をまず最初に出していただきたい。
- 【委員】 メリット・デメリットを各校区で抽出するというのであれば、協議項目を決めて検討しなければいけないと思う。協議項目を決めずに各校区の意見を持ち寄れば、全く議論がかみ合わず、抽象論になったりする可能性があるため、やはりある程度事務局で協議項目を示したほうが良い。
- 【事務局】 新設校の位置についてまず議論を始めようということで、その位置を決定するための要素や観点、例えば新設校の位置では、小学校3校と中学校も含めた用地が考え

られるが、敷地面積や校舎の基準等、現時点で示すことができる数値的なデータについては事務局が示したい。それによってどこが良いかということについて、事務局で示すことは考えておらず、委員の皆さんで合意形成が図られれば良いと思う。

○比較検討するための資料として、敷地面積等の数値的なデータや統合した場合の校舎の基準等のデータを事務局が示すことを確認する。

【委員】新校舎の位置についての資料として事務局から提示してもらいたいのは、4箇所の候補地があげられているが、予算や敷地面積等を勘案して除外する箇所があるのかないかを示してほしい。その中で協議項目に関しては委員で考えていけば良いのではないか。

【事務局】敷地面積や児童生徒数による校舎の設置基準、教室数等、そのような数値やデータについては示したい。ただ、予算的なことは、校舎の形態、機能、地盤や地質による基礎工事等、新設場所により随分異なってくると思われることから、予算面で候補から除外という判断は現時点ではできない。

【委員】メリット・デメリットを各校区で抽出するために協議項目を決めたほうが良いという意見があったが、それを今決める必要があるのではないか。敷地の面積や児童数の増減等、数値的なデータは教育委員会が示して、校区は校区として話し合うことも必要である。次回の会議では統一した協議項目について協議してはどうか。

○本日いただいた意見を会長、副会長、事務局とで預かり、整理して次回引きつぎ協議を行うことを確認する。

## (2) 実施時期について

## (3) 小中一貫教育について

- ・本日の議事1において、今後の協議日程に修正が生じたため、次回以降の協議とする。

## (4) その他

- ・事務局より、次回以降の日程、福岡市立照葉小中学校の視察について説明する。

○第6回地域協議会を3月4日(月)の18:30~20:30に、第7回地域協議会は4月16日(火)の18:30~20:30に、いずれも大分文化会館第2小ホールで開催する。

○今後の協議に生かす目的で、大分市にない施設一体型の小中学校「福岡市立照葉小中学校」の視察を2月28日(木)に実施する。

## 4. 閉会のことば

- ・瑞木副会長より、閉会のことば。